

令和3年度(2021年度) 第1回 函館市社会教育委員の会議 会議録

- 1 日 時 令和3年(2021年)8月2日(月)14時~15時30分
- 2 場 所 函館市役所8階 第2会議室
- 3 内 容
(1) 令和3年度(2021年度)社会教育事業について
- 4 出席委員 12名(池田委員長, 外崎副委員長, 長谷川委員, 古俣委員, 谷川委員, 瀬戸委員, 鈴木委員, 佐々木(香)委員, 佐々木(学)委員, 横手委員, 神委員, 水野委員)
- 5 欠席委員 3名(佐々木(まり子)委員, 横山委員, 吉川委員)
- 6 事務局出席者 7名(川村生涯学習部長, 池田生涯学習部次長, 神生涯学習文化課長, 木村スポーツ振興課長, 長谷山文化財課長, 熊谷博物館長, 筆村生涯学習文化課主査, 葛西生涯学習文化課主事)

7 発言要旨

池田委員長

それでは定刻になりましたので、ただいまから令和3年度(2021年度)第1回函館市社会教育委員の会議を開会いたします。

本日は何かとご多用のところ、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。私は委員長を務めておりますNPO法人函館市青年サークル協議会の池田と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日の会議は午後3時30分頃の終了を予定しております。

それでは、委員の出席状況について事務局から報告願います。

筆村生涯学習部文化課主査

私は、教育委員会生涯学習部生涯学習文化課主査の筆村と申します。よろしくお願いいたします。

本日の委員の出席状況でございますが、委員15名中12名の委員のご出席をいただいております。函館市社会教育委員の会議規則第5条第1項の規定に定める過半数に達しておりますことから、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

池田委員長

つづきまして本日の資料の確認をさせていただきます。

筆村生涯学習部文化課主査

本日の資料の確認をさせていただきます。

事前にお送りしたものといたしまして、

- ・次第
- ・資料1「社会教育委員について」

筆村生涯学習
部文化課主査

・資料2「令和3年度(2021年度)社会教育事業概要」

・委員名簿

4点ございます。

このうち、次第につきまして、記載されている開催場所が8階大会議室から、こちら8階第2会議室に変更になってございます。

また、資料2「令和3年度(2021年度)社会教育事業概要」につきましては、訂正がございますことから、あらためて机上配付しておりますので、差し替え方よろしくお願いいたします。

このほか、本日は、

・座席表

・世界遺産登録記念シール

・市立函館博物館令和3年度企画展「大船・垣ノ島遺跡と世界遺産」チラシ

・北海道教育委員会広報誌「教育ほっかいどう家庭版ほっとネット」を机上配布しております。

事前送付資料をお持ちでない方、机上配付資料に不足がある方はお知らせください。

池田委員長

それでは次に前回の会議以降、委員の変更がありましたので紹介いたします。また新年度はじめての会議でありますので、教育委員会事務局職員を紹介いたします。それでは事務局よろしくお願いいたします。

筆村生涯学習
部文化課主査

それでは、新しく委員になられた方をご紹介します。

函館市スポーツ協会 副会長の鈴木 利治(すずき としはる)委員です。続いて、函館市PTA連合会 副会長の 佐々木 まり子(ささき まりこ)委員でございますが、本日は欠席されております。最後に、公募委員の神 久恵(じん ひさえ)委員です。

(挨拶)

続きまして、教育委員会事務局職員をご紹介します。

(教育委員会職員の紹介)

池田委員長

次でございますが、次第4の報告に入ります前に、函館市社会教育委員の会議について、生涯学習文化課長から説明がございます。

神生涯学習文
化課長

では、函館市社会教育委員の会議について簡単に説明いたします。

(資料1に基づき、社会教育委員について説明)

神生涯学習文
化課長、木村ス
ポーツ振興課
長

(生涯学習文化課、スポーツ振興課の順で各課長が資料に基づき説明)

池田委員長

他にございませんでしょうか。

佐々木(香)委員

縄文遺跡群の世界遺産登録おめでとうございます。

函館市生活交通協議会でもお願いをしましたが、函館バスでこの施設に行くには、不便なところにバス停があります。

何度かバス停を近くへ移設できないかお願いをしましたが、バス会社より難しいとのお答えをいただいております。施設へ行かれる方は車だけではなく、バスも利用して行かれるので、なんとかバス停を建物の前に移動できないかということをお願いさせていただきたいと思っております。

長谷山文化財課長

遺跡までの交通アクセスについての課題でございますが、本数が少ないこと(本数自体が往復を含めて9本、4.5往復しかない)や、バス停が遺跡の前にはないなどがあると言われていたところでございます。

前者につきましては、函館バスに対応をお願いしているところです。後者につきましては、この路線は、住民の方が利用されているものであり、遺跡のあるバイパス上は民家がないということもあり、函館バスからなかなか難しいとお答えをいただいております。

そういう状況もあり、私の方ではバス停の名称を分かりやすくしてはどうか、という提案を函館バスにして、実施いただいております。

具体的には「産業会館前」を「垣ノ島遺跡下」というバス停名へ変更しています。その上で、「垣ノ島遺跡下」から垣ノ島遺跡までは歩いて300m～400mのところにあります、というご案内を差し上げています。

佐々木委員が言われるように、バス停が遺跡の目の前にあることが一番良いのですが、そういう形の中でご協力をいただきながら、少しでも利便性の向上を図って行ければ良いのではと考えております。

佐々木(香)委員

私は実際にそのバス停で降りたことはないですが、実際に行かれた方からお聞きした話によりますと、バス停を降りてから建物へ行くまでには緩い坂道になっているので、たとえ300m、400mとは言っても、高齢の方にとっては非常に厳しいと聞いております。

無理は承知とはいえ、出来ればバス停を遺跡の目の前に持ってきていただきたいと、今後もお願いしていきたいと思っております。

池田委員長

他にございますか。

佐々木(学)委員

文化財課の事業の5番目、郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」の実施について質問します。市内の小学校3年生を対象にバスで縄文文化交流センターと垣ノ島、大船遺跡を含め、両遺跡を見学するという事で弊紙も取材させていただき記事にいたしました。遺跡がある

佐々木 (学) 委員	<p>のは南茅部地区だけですが、函館市内全域の小学生に函館にある縄文遺跡だということを知ってもらい、感じてもらうことで、とても良い授業だと思います。</p> <p>さて、この事業ですが、小学校3年生を対象にしたのはなぜなのでしょう。歴史を勉強するのは小学校6年生です。中学校でも日本史を勉強し始めると思います。もう少し学年を広げられたら、その世代ごとに感じられることがいろいろあるのではないかと思います。縄文文化の精神文化だと、小学校3年生で感じられること、あるいはもう少し成長してから感じられることなどあるかと思います。いかがでしょうか。</p>
長谷山文化財課長	<p>この郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」につきましては、対象をどのようにするかについて、学校教育部と協議をしながら決めました。小学校3年生は、ちょうど「郷土の歴史」を学ぶ時期にあたり、郷土の歴史として遺跡について学ぶことは最適なのではないかと考えた次第です。</p> <p>一方で、それぞれの学校において、小学校3年生ではなく、違う学年を選択されても構わない、ということをお伝えしてございます。実際に、中には対象を小学校3年生にはしていない学校もございます。いずれにせよ、私どもといたしましては、全ての小学校、全ての子ども達が最終的には1度は必ず縄文に触れているということが最も重要であると考えておりますので、この事業を続けていきたいと思っております。</p>
佐々木 (学) 委員	はい、わかりました。ありがとうございます。
池田委員長	他にございますか。
神委員	今のことに関してですが、小学校3年生とか特定の授業に関するだけでなく、遠足などで行った際に発掘の体験などはできますか。
長谷山文化財課長	<p>7月28日(水)からオープンした垣ノ島遺跡は、実際の土器・石器の発掘体験ができるようになっております。通常、個人のお客様ですと、毎日11時、14時に来ていただけますと、無料で発掘体験をしていただけます。団体のお客様ですとその時間ではないところで対応することになるので、神委員からお話いただいたように学校単位でご予約いただければ、発掘体験を通じた学習ができます。総合学習の時間、もしくは遠足時間等に遺跡を訪れていただき、縄文の学習をしていただければ良いと思っております。</p>

神委員	発掘した土器を子ども達が持って帰ることはできますか。
長谷山文化財課長	<p>発掘した土器を持ち帰ることができたらとても嬉しいと思いますが、一方ではそれも重要な遺物であり、資料であります。それを発掘に使うのはいかかなものなのかと思いますが、持ち帰らないことを前提としております。</p> <p>ただ発掘体験をする前に「中に入っているのは本物なので、スコップは立てないでゆっくりゆっくり掘っていきます。」というようにレクチャーをしています。本物の発掘現場も同じです。</p> <p>発掘して出てきた物に対してレクチャーをして、最後に写真を撮る。発掘したその物の写真を撮って終わりというような形にさせていただいております。</p> <p>実際の発掘現場でも発掘したものは、自分のものとして持ち帰ることはありません。</p> <p>このような形で発掘体験を感じていただければと思っております。</p>
神委員	ありがとうございました。
池田委員長	<p>他にございますか。</p> <p>他になければ4の報告を終わりといたしますので、スポーツ振興課長、文化財課長、博物館長は退席となります。</p>
池田委員長	<p>次に、5「その他」各自の生涯学習や社会教育に関する活動等の情報交換に入らせていただきます。</p> <p>各委員の皆様には、お一人1～2分程度で、委員の日頃の生涯学習や社会教育活動、ご自身の今取り組んでいるもの、取り組まれてきたことでも構いませんので、お話をいただきたいと思います。</p> <p>このような機会を通して互いの活動等を知ることで、委員同士の繋がりの一助としていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、最初の発表者ですが、はじめに私からお話させていただき、その後は、長谷川委員から座席の順に発表をお願いいたします。</p> <p>鈴木委員まで発表が終わりましたら、函館市女性会議会長の佐々木委員が続いてください。</p>
池田委員長	<p>私は教育委員会所管の函館市青年センターという社会教育施設の運営をしております。青年センターは、青少年の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図ることを目的として作られた施設であり、我々はそれに資する事業を行っております。私はセンター長という立場です</p>

池田委員長

ので、自身で事業を手掛けることも一部はありますが、基本的には事業全体を見ることが主な業務となっております。

事業の説明ですが、まずは貸館事業で、体育館・会議室・音楽視聴覚室・調理実習室など様々なジャンルのサークル活動を行うことが出来る設備があり、その予約受付、書類の処理など事務的な業務を行っております。ただ場所を貸して終わりということではなく、利用者親睦会を年に1度開催し、施設や接客に対するご意見を聞かせていただき、それをサービスに反映させるなどして、より良い運営が出来るように努めているところです。

次に我々で企画して実施している教養講座であります。ヨガや体幹トレーニングなどの運動系、野菜ソムリエの料理教室など料理系、陶芸教室などの芸術系、あとは子どもの自由研究に関するものなどを実施しております。これらの講座は全て教育委員会で行っている「まなびっと広場」の対象講座となっていて、あらかじめ日程が決まっているものについては、「まなびっと広場講座ガイドブック」に掲載してもらい、広く市民の方に周知を図っているところです。

その他サークル活動の発表の場となるイベントや、ゲーム大会を開催するなど交流を深めてもらう事業も多数行っております。詳細については長くなりますので、私からの活動事例発表は以上とさせていただきます。

池田委員長

それでは、長谷川委員お願いします。

長谷川委員

小学校校長会を代表して出席させていただいております。本通小学校長の長谷川と申します。社会教育に関する活動ということですので、先ほど意見が出ておりました、小学校3年生の縄文文化遺跡についてお話いたします。市内46校、全学校参加して小学校3年生が学習しております。私も2回同行しました。正直な感想からいいますと、小学校3年生の1学期、この間まで2年生でした。そういう子ども達ですから5千年前と言われてもピンとはきません。これがいかに貴重かということガイドさんが説明してくれますが、なかなか子ども達はすぐには理解できないだろうと分かります。しかし、郷土愛といいますか、自分達の住んでいる地域にそういう物があるのだと触れることで、後で分かるということもあります。後で家に帰ってお父さん、お母さんに「行って来たよ」と話している子もいますし、1つのきっかけになれば良いのかなと思っています。

小学校6年生は去年から、このコロナの対応で8割方、縄文文化交流センターを修学旅行の見学場所にしております。それにも私は同行しています。

私たちが小学校6年生の頃は、1学期には公民分野は勉強せずにすぐに歴史に入り、2学期の後半から公民を学びましたが、今の6年生の社会科の学習は、1学期に公民の学習をします。

長谷川委員

修学旅行は秋なので、秋に学ばばタイミングが良いと思いますが、現状としてはタイミングがずれているということがあります。

ただ、見ておきますと、小学校6年生は、遺跡を見ながら郷土の文化（自然・食文化・生活全般）をしっかりと理解できているようです。

いずれにしても、今ここ2、3年のうちは複数回、子どもたちが遺跡を見る機会をいただいておりますので、文化財課のこの事業が今後ずっと続いて行けば、とても良い教育になると思っております。

最後に、私ごとですが、私は数年前、佐賀に行ったことがあり、その際に友人から有田焼について色々と説明を受けました。その方は別に焼き物に詳しい訳ではないですが、小学校、中学校と佐賀県では釜を使った焼き物の学習を必ずするらしいです。どんな焼き物が良い焼き物なのかを彼はよく知っていました。焼き物の見方とか、この釜にはこんな歴史があって、など語ってくれました。

函館の子ども達が遺跡を学ぶ、ということが何年も続いて行く中で、函館でも佐賀のような風潮が生まれて行けば良いのではと感じた次第です。

学校においても、世界遺産登録について、「良かったね」という風に、今後、子ども達に伝えていきたいと思っております。

以上です。

池田委員長

ありがとうございます。

古俣委員お願いします。

古俣委員

中学校校長会を代表して出席させていただいております。戸倉中学校長の古俣と申します。

みなさまには、いろいろな形で子ども達に社会体験をさせていただいているほか、地域の専門家の方々には、学校にお越しいただき授業をしていただくなど、いろいろと助けられておりますことにまず感謝申し上げます。

さて、社会教育に関してですが、1年生は市内見学、2年生は宿泊研修で遺跡見学、3年生は修学旅行で道内見学をします。

この他にも、3年生になると、総合学習の中で自分たちの将来の生き方、キャリア、教育、町づくりについても考えながら学んでおります。

例えば、町づくりに関しては、地域をどうしたら活性化できるのかということを考えます。修学旅行で地域のことを学び、地域の特色あるものの発信や販売ができないか、など、話し合います。

古俣委員

また、キャリアについては、自分の良さは何か、何を学ぶか、学んだことをどう生かしていくのか、ということ学びます。

中学校では進路についても大事になってきます。

まさに高校がない地域（例えば南茅部高校がなくなる）では、高校生になるとまちを離れます。しかし、その後、社会人となって地元に戻ろうと思っても、地域に産業がなければ職を得ることができないという切実な問題があります。

社会教育や地域学習を行うことで、地域の子ども達が自分の住む地域に関心を持つようになり、ひいてはまちづくりに積極的に関わることで、まさに産業が生まれる、ということもあると思います。

そうなれば、いったんは地域を離れた子ども達が地域に魅力を感じ、地元に戻ってきて生活の基盤を築くかもしれません。

地域の活性化です。

このような観点から地域学習にも力を入れております。

池田委員長

ありがとうございます。

谷川委員お願いします。

谷川委員

市立函館高校の谷川です。お世話になっております。高校を代表して出席させていただきます。本校（市立函館高校）の話がどうしても中心になってしまいますが、社会教育的な面では本校の設定科目、学校がもっている科目では「函館学」があります。授業のない日に外に行ってそれぞれの道のプロ、あるいは活動している方に講師になっていただき、体験するという授業です。この講座は今年50程設定しています。例えば今日は、生徒が聾学校へ行って、聾学校の教員の方、教頭先生、校長先生から聾学校に関する話を聞いて、体験できる部分があればやらせていただいております。明日は海洋研究センターへ行きます。今度の8日の日曜日には函館山に登って地域交流まちづくりセンターで函館山の歴史をレクチャーしていただいてから登り、また、同時展開の講座である函館山の植物についてもレクチャーを受け、その後体験をさせていただきます。50講座におきまして、生徒達が市民の皆様にお世話になっており、私といたしましては皆様のご協力に感謝をいたしております。できましたら、インプットしたものをアウトプットする場、つまり生徒が実際に今度はどなたかのために役立っていく部分を作りたいのですが、コロナで難しい状況です。困っております。もう少し何かできれば良いのにと感じております。去年は、この会議の中で、南本通小学校で学習支援をして欲しいと声をかけていただきました。それは今年実現できました。夏休みに南本通小学校へ行って、生徒が子ども達の学習を支援いたしました。小学校には繋がりましたので、今度は中学校にお願いしたいと思い、実際、中学校ともお話ししまして、土日は学習支援という形で、生徒が中学校

谷川委員	<p>に行って教える機会を持つことができました。幅広く繋がりながら、例えば幼稚園から大学まで学校が繋がりながら社会教育的な活動ができたら良いのではないかと考えております。以上です。</p>
池田委員長	<p>ありがとうございます。 外崎委員お願いします。</p>
外崎委員	<p>北海道教育大学函館校の外崎です。私の研究室では健康をテーマに健活プロセスというものを行ってまいりました。そのプロセスに参加したいという学生8名の希望者がいましたので集めて、健康に関するパンフレットの作成、楽しく健康について理解できる健康クイズの作成、健康について理解促進を図るための短編動画を作成して、それをYouTubeで配信しています。それから函館市から要請を受けて、函館市が行っている健康事業の「はこだて市民健幸大学」への講座の提供を行いました。その講座に関しては地元のケーブルテレビの方でコミュニティーチャンネルとして放送もされています。その活動がソーシャルグルネスコミュニティー協議会という保健医療まちづくりを進めている団体ですが、そこから評価をされまして優秀賞をいただいております。以上です。</p>
池田委員長	<p>ありがとうございます。 瀬戸委員お願いします。</p>
瀬戸委員	<p>函館市文化団体協議会副会長の瀬戸と申します。 私は個人的にタップダンスを教えておりまして、青山真理子ダンススタジオというところでダンスを教えています。文化団体協議会というのは、いろいろな団体が入っていますが、文芸だとか美術、書道、茶道、華道、着付け、洋楽、洋舞、演劇、邦楽、邦舞、詩吟などの団体が入っておりまして、全部で36団体になります。以前は60団体ほどあったのですが、今回コロナで全ての団体がかかなり痛手を受けておりまして、お教室ができない状態となり、団体自体が消滅したところもございます。しかし、マスクして感染を防ぎながら万全な対策を練ってなんとか教室を続け、発表の機会も少しずつ出来てきました。市民会館で吹奏楽のコンクール(昨日)、私の団体である青山真理子ダンススタジオの公演会(今年)も、ほとんど無観客状態ですが開催することができましたし、音楽協会も定期演奏会を開催しております。このように、少しずつ頑張っていていこうと思います。決して芸術は不要不急のものではなく、絶対生きていくために必要なものだろうと信じてコロナが明けるのを待っています。以上です。</p>
池田委員長	<p>ありがとうございます。 鈴木委員お願いします。</p>

鈴木委員

函館市スポーツ協会副会長の鈴木と申します。市田氏に代わり、私が1年間ですが社会教育委員を担当いたします。私はもともと教員であり、桔梗中学校を退職して8年ぐらい経ちます。若い時は中学校の体育の指導をしておりました。私は函館柔道部の副会長をしておりまして、そちらの方から理事ということでスポーツ協会の副会長として選出された訳です。市立函館高等学校長の谷川校長先生とは若い頃、一緒に柔道を指導しておりました。直接は戦ってはいませんが指導者として懐かしく思っております。

現在、私は函館スポーツ推進委員会に所属し、その部長をしております。数年前のマラソン大会においては、池田生涯学習部次長が課長の時命をかけ、なんとかマラソン大会を成功しなければと頑張っていました。

その姿を見て、これは開催しないと行けないと思った記憶があります。マラソン大会が無事に終わった後は涙を流しておられました。大会終了後にはアンケートをしっかりと分析、評価が上がっていることを数字で見ることができた、ということで感激の涙ですね。よくオリンピック選手が涙を流しますけれども、それに近い涙だったのではないかと思います。やはりやり遂げた、そういうものが溢れ出たのだと思います。

さて、私は函館スポーツ推進委員会ではマラソン大会や運営プランニングのお手伝いをしており、函館市スポーツ協会では親と子の体験教室、綱引き大会の開催に係る仕事や、各教育委員会からいただいた補助金を各スポーツ団体への分配する仕事をしております。

このほか、実技研修をはじめとした様々な研修を積み重ねております。

また私は総合型スポーツクラブにおいて、会計監査の仕事も行っていきます。

私はスポーツ関係が主なのですが、今日参加させていただいて色々な文化的な活動のお話を聞くことができ非常に良かったと思っております。どうもありがとうございました。

池田委員長

ありがとうございます。

佐々木（香）委員お願いします。

佐々木（香）委員

函館女性会議会長をしております佐々木と申します。函館市女性会議という団体は、函館市の女性の地位向上と男女共同参加社会を推進するための、まちづくりに貢献することを目的に36年前に作られた団体で、毎年色々な事業を行っております。今年度は、はこだて国際科学祭2021の環境イベントとして、先月7月22日に集まり、わくわくエコキッズと題した、親子向けのイベントを開催させていただきました。まなびっと夏休み号でご紹介いただき、配布2日目で先着10組が満員となりました。ありがとうございました。当日は

佐々木(香)委員

函館市環境部と函館環境衛生様のご協力により、小学生の子ども達は、自分達が出したゴミがどこでどうなっていくのかを、実際にゴミ収集に関わっている職員の方たちからお聞きすることができました。

また、昨年、コロナの関係で中止された第50回はこだて女性大会を今年度末の来年3月8日の国際女性デーの前後に開催する予定になっております。今年度は昨年度にできなかった『みんなの学校』という映画の上映会開催を予定しております。

今年10月に開催される、はこだて男女共同参画フォーラムでは、『みんなの学校』に出てくる学校の校長先生である木村泰子先生の講演会が開催されますので、それと合わせる形で、3月に『みんなの学校』の上映会をするものです。

このほか、6月から毎月第3水曜日に乙女温泉という事業を実施しております。湯の川温泉「笑 函館屋」を貸し切り、女性のがん患者さんのための貸切温泉で、これまで手術の痕や治療による脱毛などを気にされて温泉に行けなかった15名の女性達が参加されております。

ヨガセラピーをしている児玉先生とアートセラピーをしている中村さんという2人の先生にボランティアで来ていただき、先生方の指導のもと、参加者に、ゆったりとリラックスして過ごしていただき、「自分1人じゃないよ」ということを感じてもらえるような居場所を提供しております。

最後になりますが、今年の3月から活動を始めております生理用品の無料配布プロジェクトをされている「mina mina」という雑貨屋さんを運営されています佐々木さんのお仕事のお手伝いを少しさせていただいておりますほか、今年度一番のメイン事業として、9月5日に開催予定の「はこだて防災マルシェ2021」を企画しております。足かけ2年の準備を重ねた事業で、男女共同参画の視点で誰1人取り残さない防災を目指した事業となっております。

ホットなニュースとしては、今開催しております東京オリンピックのヨット競技会の運営支援をしている、青森を拠点に活動とお仕事をされている株式会社フォルテさんという企業が、ブースを出してくださることになりました。他に渡島総合振興局、函館地方气象台、三和防災など、たくさんの企業の方にも参加いただきます。

函館市の災害対策課の参加もあり、函館市の防災備蓄品の展示をしていただく予定です。

何よりも参加される子ども達が1日楽しく防災を学べるワークショップなど、体験が沢山できる内容となっておりますので、チラシ、ポスターが出来次第お知らせいたします。

是非みなさまにもご協力のほどよろしくお願ひしたいと思います。
以上です。

池田委員長

ありがとうございます。
佐々木(学)委員お願ひします。

佐々木 (学) 委員

北海道新聞 報道部長の佐々木と申します。縄文遺跡群世界遺産登録は報道部にとっても今年大きなテーマの1つでした。縄文遺跡が函館だけであれば自由に主導的に色々取材や報道をすることができたのですが、今回難しかったのは17の遺跡構成資産が、道内では函館、千歳、洞爺湖町、それから青森、秋田、岩手と3県に分散しているところでした。そのため、北海道新聞の社内的には千歳支局と伊達支局、それから世界文化遺産登録の北海道側事務局の道庁関係の本社報道センターと函館報道部でオンライン会議を開き、情報共有や各種調整を行ったほか、東北3県、青森県の東奥日報社、岩手県の岩手日報社、秋田県の秋田魁新報社と北海道新聞とで、計4回オンライン会議を開き、取材協力をしようと話し合いました。5月のICOMOS登録の時や7月の正式登録決定の時は、それぞれの地元の人たちの喜びの声や記事や写真をお互いに交換し合いましたし、17の遺跡を紹介する連載企画や、遺跡や縄文文化の価値をピーアールしてきた人達を紹介するコーナーを4つの新聞社で共同企画として実施いたしました。17の遺跡はそれぞれに個性や特徴があり、どれか1つ欠けても今回の世界遺産登録にはならなかったということが、よく分かりました。

最後になりますが、これから観光客が訪れた時、観光地のそれぞれがライバルになってはならないと私は思っております。遺跡の保存、それから縄文文化の価値を広めていく事で、それぞれの自治体や遺跡に関わってきた人達、市民団体が互いに協力していくことが大事であると思います。

以上です。

池田委員長

ありがとうございます。

それでは横手委員をお願いします。

横手委員

私は函館市町会連合会東部地区協議会の横手と申します。私は委員就任から2年目です。町会の仕事はしていますが、社会教育委員として、特別何かに関わっている訳ではありません。これで良いのだろうか、と思っています。

この2年間は、社会教育委員の会議に出席し、皆様の活動を知るなど社会教育について学ばせていただいた、というところです。

仮にこれから社会教育委員としての活動を行った場合に、4地区(戸井・楯法華・恵山・南茅部)を一人でカバーできるのか、それとも各地区から1人ずつ、委員を出してもらった方がいいのか、と考えたりしています。

先ほど各関係課長から説明がありました社会教育事業の中には、私が所属する恵山地区の活動もございましたが、町から、「こういう事業があるから参加して欲しい」という依頼をされたことはありません。

もしかしたら、私の方から働きかけなければならないのかもしれませんが・・・。

横手委員	<p>こういう状況ですので、社会教育委員の会議に報酬をいただいて出席していて良いのか、という思いも持っています。</p> <p>組織的な話等、率直な意見を言いました。失礼がありましたらご容赦ください。</p> <p>以上です。</p>
池田委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは神委員お願いします。</p>
神委員	<p>公募で委員に就任いたしました神と申します。以前は小学校の教員をしていました。現在は児童館の厚生委員として働いています。</p> <p>今回応募したのは昔から社会教育に興味があったからです。大学時代に社会教育主事の資格をとり、教員を退職した後は、子育てサークルなどを行っていました。今から20年前の話にはなりますが、その時に、活動のために色々と会場を探したのですが、活動に関する理解をしていただけず、会場をなかなか見つけることができなかつた、ということがありました。このため、せっかく社会教育に繋がっているのに生かせないという思いがずっとあり、今回、社会教育委員に応募させていただいた次第です。</p> <p>私はシュタイナー教育を勉強しており、20年ぐらい仲間と一緒に活動しています。シュタイナー教育は社会教育ではありませんが、例えば、「素数で円を作ってお絵かきをして勉強していく」という教育がありまして、小学生の子ども達が勉強しています。そういう活動をしておりますので、今回発表させていただきました。</p> <p>今、私は児童館に勤めているのですが、児童館は保健福祉部の所管です。教育と福祉は微妙な違いがあると、最近つくづく感じています。教育と福祉が互いに交流する関係が出来ればと思いつつ、垣根というものは不思議と埋まらないものなのかと、最近実感しているところです。以上です。</p>
池田委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは水野委員お願いします。</p>
水野委員	<p>水野です。私は委員就任から2年目になります。正直なところ、社会教育委員として社会教育にどのように関わって行けば良いのかと、日々考えながら過ごしているような状態です。</p> <p>しかし、この会議に出席することにより、色々勉強できることが多くあったと思っています。</p> <p>私は退職する以前は、国公立の体育の教員でした。退職後は非常勤講師としてスポーツ科学を担当し、その後は3年ほど、檜山の児童の体力向上のために協力をしておりました。その時に、北海道の子ども達、特に小学校の子ども達は体力があると感じました。</p>

水野委員

私は児童だけではなく、保護者にも食事等について指導をしました。指導後は、子ども達の体力も伸びましたので、指導の効果が出たのではないかと思います。

今でも依頼があれば、体育の指導に行っているほか、土日はゴルフなどをして過ごしております。そのような時に、町の人との積極的にコミュニケーションを図る等、地域のつながり作りに努力しています。

先ほど、縄文について小学3年生が学んでいるというお話がありましたが、すごく良いことだと思って聞いておりました。

実は、私の孫は地方に住んでいるのですが、函館の友達から、縄文について学んだ話を聞いたらしいのです。そうしたら、「是非函館に来たときはお爺ちゃん遺跡等に連れて行って欲しくないか。見に行くから。」と言っておりました。私は、すごく良いことだと感じています。

施設への入館料はかかるとは思いますが、たくさん人がくれば市にとっては良いことですね。

縄文について学んだ人が、次に違う人に教えてあげる、このように知識の和が広がり、縄文について皆が理解を深めて行ければ良いと感じています。

私も、縄文について広めていきたいと思っています。

みなさん、これからもよろしく願いいたします。

池田委員長

はい、ありがとうございました。

それでは、ただいまの各委員の発表についてもう少し内容を知りたいですとか、質問など、何でもかまいませんので、どなたか発言したい方はありますか。

神委員

はい。

池田委員長

はい。

それでは神委員お願いします。

神委員

市立函館高校の校長先生にお聞きします。

子ども達のアウトプットの場はあるのでしょうか。

谷川委員

ボランティア活動のことですか？

神委員

そうですね。

谷川委員

ボランティアについても色々ありますが、具体的なイメージなどございますか。

神委員

部活のような。

谷川委員	部活はございません。
神委員	私は児童館勤務ですが、児童館の行事などで、生徒さんにお手伝いしていただくことはできるのでしょうか。
谷川委員	はい。 ポイントは、ただお手伝いをするだけではなく、「課題が何で、何のために行っているのか、将来的にこの活動がどのようなことに繋がるのか」など、現状と課題、将来像等をレクチャーいただき、その上で体験させていただければ良いのではないかと思います。 ただ何かやって終わり、というのでは深みになりませんよね。 ボランティアを終えてから、自分で考えて、課題が何かを理解し、解決策を自分で実際にやってみて、更に自分で学ぶことがあったら、継続して活動していく、こういうことが将来的に仕事になるかもしれませんし、私どもは、そういうことを狙っております。 児童館におけるボランティアについて、情報としてありがとうございました。活動場所を探しておりましたので助かります。ありがとうございました。
神委員	ありがとうございました。
池田委員長	他にいらっしゃいませんか。
池田委員長	私から良いでしょうか。 佐々木（香）委員へ質問がございます。
池田委員長	防災マルシェについて、長い時間をかけて準備されてきたと思います。その中でコロナ感染症の拡大やワクチンの接種の開始等、様々なことの影響を受け、振り回されていることとご推察いたします。 おそらく、コロナの中で色々考えさせられた事もあると思うのですが、何か具体的なことがありましたらお聞かせ願います。
佐々木（香）委員	防災マルシェを開催することについては、沢山の方から「開催して大丈夫ですか」というお声をいただきました。私の気持ちとしては、このコロナ禍でも災害は起こりますので、この状況で災害が起きて、もしも避難所へ行かなければならない時、困った状況な時に、その避難所でどう対応するのかを学ぶことは必要だと考えています。もちろん、コロナ感染防止対策については万全に万全を重ねた上に更に注意深く実施いたします。 防災マルシェのイメージとしては、「自分がもし避難所へ行くとしたらこんな素敵な避難所へ避難したい。」というものを体験できる避難所を想定したイベントになっております。各ブースでもそれぞれ手

佐々木（香）委員	<p>指消毒をお願いしますし、密にならないように人が流れていき、一定の場所に止まらないようにします。</p> <p>防災マルシェの協力依頼先の方にも、開催について心配するお声を頂戴しますが、私はだからこそやらなければ、と思い、今、準備を慎重に進めております。</p> <p>市立函館高等学校の生徒さん達にも、ぜひボランティアとして防災マルシェに関わっていただきたいと思います。非常に期待しております。遺愛高等学校などが当日、ボランティアで来ていただけることになっているほか、教育大学と函館大学、未来大学、北海道大学の学生からも当日のボランティアを募集しているところです。</p> <p>ぜひ、前向きにご検討をよろしくお願いいたします。</p>
池田委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>大学生、高校生にとってもボランティアは非常に良い経験になると思います。防災を学ぶだけではなくて、地域に関わっていくこと自体がすごく彼らには良い経験になると思いますので、是非成功をお祈りしております。頑張ってください。</p>
佐々木（香）委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>この防災マルシェに関わってくださる（いろいろなブースで参加されてくださる）各方面の団体同士がコミュニティーになると、将来函館で何か災害等が起こった時に互いの顔が浮かび、助けを求めやすくなるため、関係者同士が仲良くなることも1つ目指しております。</p> <p>みなさんの中でも、手伝いたいと思っただきの方は大歓迎ですのでよろしくお願いいたします。</p>
池田委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に何かございますか。</p> <p>（意見なし）</p>
池田委員長	<p>事務局から何かございますか。</p>
神生涯学習文化課長	<p>はい。北海道社会教育研究大会、全道大会で今年は函館で開催する予定でした。全道各地から400～500人の社会教育委員の方などが集まるような大会でしたが、コロナの影響で今回の函館大会については中止となりましたので報告いたします。</p> <p>次回につきましては、来年度、留萌地区での開催を予定しています。</p>
池田委員長	<p>ただいまの件について何か質問はございますか。</p> <p>（質疑応答）</p> <p>それでは、事務局から他に何かございますか。</p>

神生涯学習文
化課長

次の会議につきましては、また改めてご案内いたしますので、よろしくお願ひします。

池田委員長

他にみなさまから何かございますか。
なければ、以上で、本日の会議を終了します。

みなさま、お疲れ様でした。

以上、令和3年度（2021年度）第1回函館市社会教育委員の会議の会議録とする。

委員長 池田 孝道